

線形代数 I 演習

— (2) 平面ベクトルの幾何学的意味, 内積, 複素数と複素平面 —

担当: 佐藤 弘康

基本問題. 以下のことを確認せよ (定義を述べよ).

- (1) ベクトルの和, スカラー倍にはどのような幾何学的意味があるか?
- (2) 「平面ベクトルの内積」とは?

問題 2.1. 次のベクトル \mathbf{u}, \mathbf{v} に対し, ベクトルの長さ $\|\mathbf{u}\|, \|\mathbf{v}\|$ および内積 (\mathbf{u}, \mathbf{v}) を計算し, \mathbf{u}, \mathbf{v} のなす角を求めよ.

$$(1) \mathbf{u} = \begin{pmatrix} \frac{1}{2} \\ 1 \end{pmatrix}, \mathbf{v} = \begin{pmatrix} -4 \\ 2 \end{pmatrix} \quad (2) \mathbf{u} = \begin{pmatrix} 1 \\ -2 \end{pmatrix}, \mathbf{v} = \begin{pmatrix} -3 \\ 6 \end{pmatrix}$$

$$(3) \mathbf{u} = \begin{pmatrix} \cos \theta \\ \sin \theta \end{pmatrix}, \mathbf{v} = \begin{pmatrix} \cos \varphi \\ \sin \varphi \end{pmatrix}$$

問題 2.2. \mathbf{a}, \mathbf{b} を平面ベクトルとする. もし, $\|\mathbf{a}\| = \|\mathbf{b}\|$ ならば, $\mathbf{a} + \mathbf{b}$ と $\mathbf{a} - \mathbf{b}$ は直交することを示せ.

問題 2.3. A, B を平面内の点とし, それぞれの点の位置ベクトルを \mathbf{a}, \mathbf{b} とする (ただし, \mathbf{a}, \mathbf{b} は線形従属でないとする). このとき, 三角形 OAB の面積は

$$\frac{1}{2} \sqrt{\|\mathbf{a}\|^2 \|\mathbf{b}\|^2 - (\mathbf{a}, \mathbf{b})^2}$$

に等しいことを示せ.

内積の性質

平面ベクトルの内積が以下の性質を満たすことを示せ.

- (1) $(\mathbf{a}, \mathbf{b}) = (\mathbf{b}, \mathbf{a})$.
- (2) $c \in \mathbf{R}$ に対して, $(c\mathbf{a}, \mathbf{b}) = c(\mathbf{a}, \mathbf{b})$. また, $\|c\mathbf{a}\| = |c| \cdot \|\mathbf{a}\|$.
- (3) $(\mathbf{a}_1 + \mathbf{a}_2, \mathbf{b}) = (\mathbf{a}_1, \mathbf{b}) + (\mathbf{a}_2, \mathbf{b})$.
- (4) $\|\mathbf{a}\| \geq 0$. さらに等号が成り立つのは $\mathbf{a} = \mathbf{0}$ のときのみである.

基本問題. 以下のことを確認せよ (定義を述べよ).

- (1) 「複素平面」とは?
- (2) 「複素数の絶対値, 偏角」とは?
- (3) 複素数の和と積は, 複素平面において幾何学的にどのように解釈できるか.
- (4) 「共役複素数」とは?

問題 2.4. 次の複素数を $r(\cos \theta + \sqrt{-1} \sin \theta)$ の形^{*1}で表せ. ただし, r は正の実数とする.

- (1) $\sqrt{-1}$ (2) -5 (3) $\sqrt{3} + 3\sqrt{-1}$

問題 2.5. $z = a + \sqrt{-1}b$ (a, b は実数) に対して, z^4 が実数になる条件を求めよ.

問題 2.6. $z, w \in \mathbf{C}$ に対して, $\bar{z}w + z\bar{w} = 0$ と $\arg z - \arg w = \frac{\pi}{2} \pmod{2\pi}$ は同値であることを証明せよ.

問題 2.7. $(2 + \sqrt{-1})(3 + \sqrt{-1}) = 5(1 + \sqrt{-1})$ を確かめ, そのことを使って

$$\tan^{-1} \left(\frac{1}{2} \right) + \tan^{-1} \left(\frac{1}{3} \right) = \frac{\pi}{4}$$

を示せ (ただし, \tan^{-1} は $f(x) = \tan x$ の逆関数).

複素数の偏角の性質

複素数の偏角が以下の性質を満たすことを示せ.

- (1) $z \in \mathbf{C}, a \in \mathbf{R} (a \neq 0)$ に対して, $\arg(az) = \arg(z)$.
- (2) $z \in \mathbf{C}$ に対して, $\arg \bar{z} = -\arg z$.
- (3) $z, w \in \mathbf{C} (w \neq 0)$ に対して, $\arg \left(\frac{z}{w} \right) = \arg z - \arg w$.

^{*1} $z = r(\cos \theta + \sqrt{-1} \sin \theta)$ ($= re^{\sqrt{-1}\theta}$) を複素数 z の極表示という (教科書 p.12 参照).